

令和2年度 事業報告書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

特定非営利活動法人 仙台傾聴の会

1 事業実施の成果

令和2年度は、復興庁「心の復興」被災者支援事業補助金、宮城県NPO等の絆力を活かした震災復興支援事業補助金、宮城県自死対策強化事業補助金、WAM助成(社会福祉振興助成事業)助成金、仙台市生活支援モデル事業補助金、みやぎチャレンジプロジェクト配分金、みやぎ生活協同組合助成金を受け活動しました。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、活動の大半が休止に追い込まれました。特に「施設訪問活動」「子育て支援事業」は、全く活動できない状況でした。その他の活動については、緊急事態宣言解除後に状況を見ながら、感染対策を講じ段階的に実施しました。

東日本大震災後から継続して行っている傾聴カフェは、仙台市、名取市、岩沼市、亶理町の各自治会の協力を得、実施しました。従前から実施の音楽を取り入れた「音楽カフェ」については、感染拡大が懸念されることから実施せず、その代替として、革ブローチ製作を実施しました。箱庭を活用した「箱庭カフェ」は実施しました。昨年から実施している、独居の方や引きこもりがちの方の参加拡大を図るための「ランチ会」を名取市美田園北集会所で2回実施し、参加者にアンケートを行いました。また、岩沼市で「地域会議」を開催。貴重な意見交換の場となり、今後の活動の参考になりました。県内各所の他、福島県南相馬市や二本松市においても実施し、多くの方々と充実した交流を図ることができました。

「個人宅訪問」「傾聴サロン」「電話相談」も実施。電話相談については、4月に電話回線・曜日を増設し、月曜日から土曜日まで実施し、いち早くコロナ禍対応を行いました。その結果、利用者の増大がみられました。

傾聴ボランティア団体「みやぎ傾聴ネットワーク」とも積極的に連携を図り交流すると共に、研修会を開催するなどスキルアップに寄与しました。安否確認を兼ねた孤立防止策として「ふれあい電話サービス」も実施。前年度に引き続き、仙台市モデル事業「住民主体による訪問型地域支え合い活動促進事業」にも参画しましたが活動は休止状態で補助金は返還しました。

人材育成面では、養成講座・入門講座を仙台市・名取市で開催。各市町村からの依頼により、傾聴ボランティア養成講座、基本講座を出前し、県内各地で実施することができました。会員スキルアップ研修は、当会理事鹿股英生氏を講師に「事例検討」も含め3回開催。コロナ禍に伴う、会員の士気低下の抑止や活動再開に向けた学習の効果となりました。また、電話相談体制の充実を図るため、電話相談養成講座を、元小学校教頭北条久也氏を講師に2回シリーズで開催し、会員スキルアップ研修は合計5回開催。会員フォローアップ研修は、復興公営住宅傾聴カフェ現任者研修を開催し、震災から10年を迎え、傾聴カフェの現状と指針について、グループワークを行い、問題点等を共有し今後の活動に繋げました。

公開講座は、現代の社会問題をテーマに、テーマ「ストレスに負けない心を作る方法」を泉ころのクリニック院長高橋玄氏に、テーマ「引きこもりへのアプローチⅡ」を東北大学大学院教授若島孔文氏に、それぞれ講演を頂き、一般の方及び賛助会員等大勢の参加があり好評でした。公開講座は2回開催しました。昨年に引き続き、研修部で取りまとめた会員の活動記録を各支部定例会で勉強会を行い、会員の傾聴技術の向上を図りました。

令和2年1月～3月、喫緊に解決しなければならない社会解決課題のために社会福祉法人宮城県共同募金が行っている支援活動「みやぎチャレンジプロジェクト」に参加しました。活動資金調達のため赤い羽根共同募金会と一緒に寄付の呼びかけを、支部毎に会員がイオン各店頭や街頭に立ち募金活動を行いました。その結果目標額100万円を超え、1,711,704円の募金が寄せられ、助成額は600,000円でした。

広報活動として、傾聴活動の報告と啓発を含めて、会報「傾聴だより」を年3回発行しました。

認定NPO法人化については、プロジェクト会議を開催し、他団体のアドバイスを受けながら、資料を作成し、令和3年3月31日に申請書を宮城県に提出しました。

震災から10年を迎え、被災者の声を聴き書きにし「あなたの心によりそう」記念誌を令和3年3月11日に発行しました。各支部から、記念誌発行メンバーを選出し、聴き書き編纂に携わっていただきました。

生活協同組合あいコープみやぎからの委託事業を受託し、「電話相談業務」を令和2年4月から令和3年3月まで、毎月1回第2火曜日に活動しました。

例年12月開催の全体会、バザーについては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により今年度は開催中止にしました。

今年度は、コロナ禍の中、私たちボランティアに何ができるのか、議論を重ねてきました。模索しながらの活動になりましたが、その中でも、電話相談の回線・相談日の増設や人材育成の養成講座、出前講座、会員スキルアップ研修、公開講座等が実施できたことは、評価に値すると思います。また、各支部定例会でも「コロナ禍の中で私たちができること」として議論し、支部毎に各施設等に「寄せ書き」や「カード」など作成しお渡ししました。施設側からも喜ばれ、感謝の言葉をいただきました。

各種新聞掲載について、代表の投稿文または、ボランティア養成講座受講生やスタッフとして携った会員が、講座の有意性、効果を河北新報に投稿し掲載。震災から10年ということで、各メディアから注目され、読売新聞では、電話相談など傾聴の必要性について掲載されました。長期化するコロナ禍において、人々が不安感、閉塞感に陥っている状況の中で、いかに傾聴が重要な位置づけにあるか理解して頂いたこと、当会のこれまでの10年の被災者支援の継続的活動が認知され、今後の活動の励みになりました。

今年度も社会福祉の増進に寄与することを目的に地域住民の心に寄り添い傾聴活動を推進しました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	実施回数	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数等	事業費の合計額 (単位:千円)
1、傾聴活動事業 (1)個人宅訪問	地域包括支援センター等からの依頼により独居等の個人宅を訪問し傾聴活動を実施しました。	月1~2回	仙台市 名取市 岩沼市	延べ101名	高齢者 一般等 延べ57名	758
(2)施設訪問	依頼を受けた各高齢者福祉施設等を訪問しています。コロナ禍のため活動は実施できませんでしたが、リーダーによる事務連絡等は行いました。			延べ34名	延べ0名	69
(3)復興公営住宅等の傾聴活動	被災者向けの傾聴カフェを復興公営住宅等で実施しました。ランチ会を名取市美田園北集会所で2回開催しました。	月1~3回	仙台市 名取市 岩沼市 亘理町 七ヶ浜町 福島県	延べ354名	高齢者 被災者 一般等 延べ596名	1062
(4)個別対面相談「傾聴サロン」	話を聴いて欲しいと思う高齢者、被災者、一般の方を対象に、対面により有資格者が無料相談を行いました。	月1回 10:00~15:00	仙台市 名取市 岩沼市 塩竈市	延べ60名	高齢者 被災者 一般等 延べ98名	1662
(5)個別電話相談	電話を用いて、依頼者の悩みを聴き、相談を受けました。4月から回線・相談日を増設。	週6回 (火・木・土) 10:00~17:00 (月・水・金) 10:00~16:00	名取市市民活動支援センター等	延べ285名	高齢者 被災者 一般等 延べ1,547名	2605

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	実施回数	実施場所	従事者の 人数	受益対象者の 範囲及び人 数等	事業費の 合計額 (単位:千円)
(6)ふれあい電 話サービス	地域包括支援センター等と 連携登録頂いた方へ定期的 に電話での安否確認を行 い、家族の安心支援に繋が りました。	月1~2回	仙台市 県内各所	延べ43名	高齢者 一般等 延べ43名	798
(7)仙台市モデル 事業	仙台市モデル事業「住民主 体による訪問型地域支え合 い活動促進事業」に参画し ましたが、コロナ禍のため 活動はできませんでした。			延べ0名	高齢者 要支援 延べ0名	
(8)子育て支援 事業	若林区「官民共同の子育て 支援団体」と連携し活動、 名取市児童センターでの活 動は、コロナ禍のため活動 はできませんでした。			延べ0名	子育て中 のお母さん等 延べ0名	
2、支援人材育成 講座等の研修 事業	各市町、社会福祉協議会、 民児協等の依頼を受け、当 会より講師を派遣し、傾聴 基本講座、傾聴ボランティ ア養成講座を実施しまし た。	月1~2回	依頼先 において	10ヶ所 16回 延べ42名	富谷市他 10ヶ所 一般 延べ240名	786
(1)出前講座						
(2)養成講座	傾聴ボランティア活動に参 加希望の方の養成講座を 実施しました。	年2回	仙台市1回 名取市1回	延べ41名	一般 支援者 延べ95名	1122
(3)研修講座	当会会員のスキルアップ講 座・フォローアップ講座等を 実施しました。今年度は、 電話相談養成講座等を開 催。傾聴活動後に提出の 活動記録を研修部でまと め、それを活用し、会員の スキルアップに努めまし た。	会員スキルア ップ研修年5回・ 傾聴カフェ現任 者等フォローア ップ講座年1 回・読み込み年 4~5回	福祉プラザ等	延べ34名	会員 延べ213名	1028
(4)公開講座	支援者及び一般の方への 傾聴の普及と啓発を目的と し、外部講師を招いての講 座を実施しました。	年2回	仙台市シルバ ーセンター	延べ28名	支援者 一般等 168名	999
(5)傾聴入門 講座	傾聴の普及と啓発を目的と し初心者への傾聴入門講 座を開催し、養成講座受講 の会員拡充に繋がりました。	年1回	仙台市	延べ5名	一般 延べ32名	256
(6)傾聴ネット ワーク事業	宮城県内の傾聴ネットワー ク団体との連携を強化、交 流研修を実施し、スキル向 上に寄与しました。	年5回	多賀城市 大和町 塩釜市 山元町	延べ6名	延べ61名	458

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	実施回数	実施場所	従事者の 人数	受益対象者の 範囲及び人 数等	事業費の 合計額 (単位:千円)
3、会報発行等の 啓発事業 (1)会報発行	当会の活動状況を、より広く地域社会に認知して頂く為に「傾聴だより」を発行しました。ホームページの充実も図りました。	会報年3回 ホームページ 月1回更新	名取市市民 活動支援センタ ー・福祉プラザ 等	延べ13名	一般 会員 延べ4,500部	560
(2)イエロー レシート	イオンのイエローレシート・キャンペーンには、コロナ禍のため参加できませんでした。			延べ0名	支援者 一般等	
4、その他 (1)みやぎチャレ ンジプロジェクト	当会の活動資金調達の為赤い羽根共同募金と一諸に募金活動を行いました。	年1回 1月～3月	イオンスーパー センター 鉤取 店・街頭等	延べ74名	一般 賛助会員 会員	53
(2)認定NPO法人 の準備	認定NPO法人化に向けて、プロジェクト会議を開催し、資料を作成し申請書を提出しました。	年39回	名取市市民 活動支援センタ ー等	延べ72名	会員	197
(3)「聴き書き」記 念誌発行	震災から10年の被災者の声を聴き書き「あなたの心によりそう」記念誌発行	年6回	名取市市民 活動支援センタ ー等	延べ39名	会員	1381
	合計					13794